

- 県北型システム、肉用牛ヘルパーなど様々な労力支援システムを構築しているが必要な労力には未充足。また、近年、農福連携に取り組んでいるが継続的に取り組みを進めるための体制が未構築。**
- 労力協と連携し、人材派遣の活用に向けた検討会、説明会を開催し、安定的な労力の確保を支援するとともに農福連携についてはマッチング機関の設置に向けた検討を実施。**
- 県内初となる日雇い派遣を試行的に実施(かんきつ部会7戸利用)新たに平戸市大島に和牛ヘルパー組合が設立。**

具体的な成果

普及指導員の活動

1 人材派遣の活用

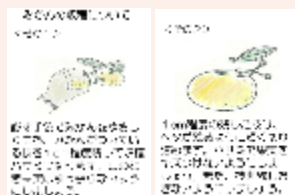
- かんきつ部会を対象に、日雇派遣(試行)を実施
利用農家:7戸 スタッフ14名
実施期間:11月20日~12月20日
利用者の感想:概ね良好
- 外国人材派遣等に関する聞き取り調査
周年希望 12~13名(5戸)
中期希望 2名(1戸)

2 農福連携体験会開催とマッチング支援

- みかん作業、マルチ片付けの作業体験会を開催
参加者10名(2事業所 利用者6名、支援員3名)
マッチングを試みたが、事業所との距離が遠いため未成立。



作業体験会の様子



説明用のパネル

3 新規組織の設立支援と既存組織を対象に労務管理能力向上支援

- 新たな組織の設立 ⇒ 1組織
大島地区和牛ヘルパー組合
- 農作業安全研修会の開催⇒29名参加

労力支援組織	県北型	6
	和牛ヘルパー	3
	パッケージ	2
	その他	1
	合計	12



AEDを使った研修

(6~7月、3月)

- ・労力協と協力し外国人材活用に関する聞き取り調査を実施。また、希望者等を対象にした説明会を開催。

(10~3月)

- ・かんきつ部会、株式会社エヌと連携し県内初となる日雇い派遣を試行的に実施。次年度の利用に向け、調整中。

(6~11月)

- ・30年度に作業マッチングを行った事業所、農家への聞き取り調査を行い、実施状況(作業内容、価格、問題・課題等)を把握
- ・みかん収穫作業体験会に向け、作業内容の検討や体験会参加者募集。説明用のパネル作成。

(通年)

- ・平戸市大島での和牛ヘルパー組合の設立に向け、情報提供や検討会の開催支援を行った。
- ・H31年度設立した組織に対しては、定期的な検討会に参加し、運営支援を実施。

普及指導員だからできたこと

- ・人材派遣会社と連携し、試行的に日雇い派遣を実施することで雇用労力確保の一助となった。
- ・農福連携では農家、事業所の要望をくみ取りWinWinの関係を築くことができています。
- ・労力支援組織の設立にあたり、今までの経験を基に設立、設立後の支援ができています。